

鹿児島県漁海況週報

令和元年9月5日発行(8月29日～9月4日)
第2818報【旧暦：7月29日～8月6日/月齢：28.0～4.7/潮汐：大潮～中潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

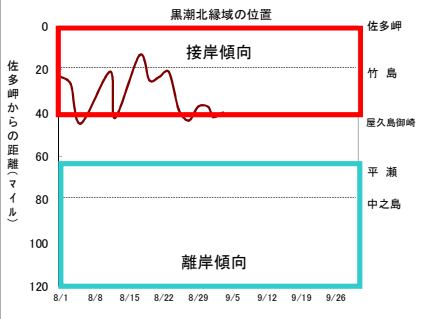
黒潮北縁域は、9月3日現在、屋久島御崎の北1.1マイル付近にあり、接岸している。

○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、9月3日現在、65マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、佐多岬、竹島、笠利崎、与路島で0.1～0.6℃降温し、その他の海域で0.1～0.9℃昇温した。平年比較では、佐多岬、竹島で“やや低め”、鹿児島、与路島で“平年並”、その他の海域で“やや高め”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	29.5	+0.1	+0.4	やや高め
鹿児島	27.9	+0.6	+0.0	平年並
佐多岬	27.2	-0.2	-0.8	やや低め
竹島	27.6	-0.1	-0.6	やや低め
屋久島御崎	29.0	+0.7	+0.5	やや高め
中之島	29.1	+0.3	+0.5	やや高め
笠利崎	29.0	-0.3	+0.6	やや高め
与路島	28.5	-0.6	+0.1	平年並
与論	29.5	+0.2	+0.8	やや高め
壱岐海峡	28.4	+0.9	+0.6	やや高め

鹿児島一那覇定期客船観測は9/3～4
串木野一飯定期客船観測は9/4

【漁況】

○定置網

西薩南部海域では、ヤマトカマス(80～100g)が200～300kg/日、シラ(2kg)が100kg/日、1日のみゴマサハ(200g)が400kg、シロカジキ(37～90kg)が2尾の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でヤマトカマス(100～200g)が500kg、シラ(2.5～5kg)が240kg、イサキ(200～500g)が100kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で29統がカマス類、マヅ小、マヅ豆主体に12トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でニベ類、タウオ、カンパチ主体に2.2トンの入網。

○キビナゴ刺網

甌島海域では、3～6箱/隻・日の漁。西薩南部海域では、2～6箱/隻・日の漁。

○バショウカジキ情報

定置網では、西薩南部海域で30kgが1日のみ2尾の入網。

○ブリ銅付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、5kg前後を7～13尾/隻・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の記事に記載しています。) 業種別・漁港別水揚げ状況

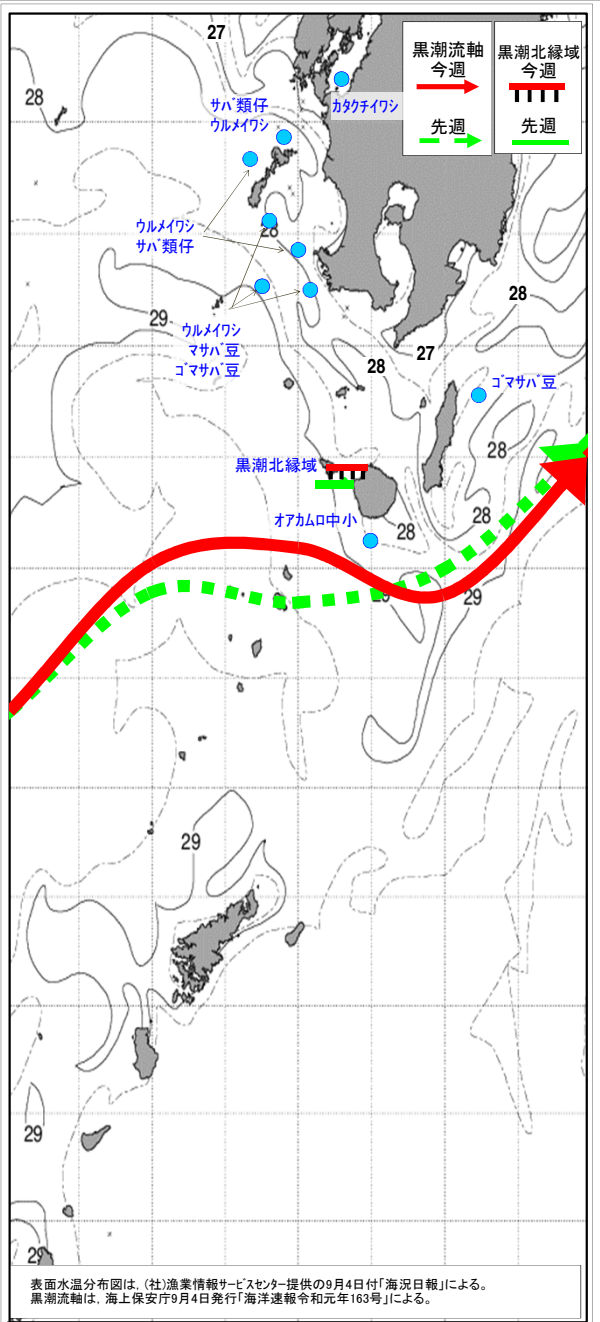
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	※前年同期(第2771報)					
						1日1統	前週隻数	前週漁獲量	前年同期隻数	前年同期漁獲量	
旋網	阿久根	大	3	145	甌西 野間池沖	ウルメイワシ56 サハ類仔39	48.3	0	—	5	206
		中	12	125	長島 野間池沖 網瀬	カタチイワシ38 サハ類仔28 ウルメイワシ24	10.4	10	97	26	305
	枕崎	大	7	356	甌下 坊津沖	ウルメイワシ68 マサハ豆22 ゴマサハ豆8	50.9	9	484	5	279
		中	21	524	津倉 種子島東 坊津沖 屋久島南 坊津沖 甌下	ウルメイワシ48 オアカムロ中小15 マサハ豆12	25.0	24	630	16	470
	内之浦	中	0	—			—	0	—	0	—
	山川	中	0	—			—	0	—	0	—
計	大	10	501			50.1	9	484	10	485	
	中	33	649			19.7	34	727	42	775	
東海旋網	阿久根	0	—			—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—			—	0	—	1	43	
棒受網	阿久根	58	87	阿久根沖 長島	ウルメイワシ88 サハ類仔10	1.5	71	96	38	111	
	内之浦	0	—			—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	29	12		カマス類26 マヅ小12 マヅ豆11	0.4	28	20	37	33	
刺網	阿久根	56	6	甌 牛深沖 阿久根沖	キビナゴ100	0.1	53	6	54	5	
カツオ竿釣・海外旋網	枕崎	大	0	—		—	0	—	0	—	
		小	0	—		—	0	—	0	—	
	山川	海旋	0	—			—	1	717	2	1139
		海旋	0	—			—	2	11	0	—

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、中トビを50箱/統・日、小トビを50箱/統・日の漁。屋久島海域では、中トビを40～91箱/統・日、セトビを8～24箱/統・日、小トビを1～4箱/統・日、中中トビを1～2箱/統・日、小小トビを1箱/統・日の漁。

○その他

西薩海域では、底曳網でツキガイを30～55kg/隻・日の漁。一本釣りでハガツオ(1kg)を55kg/隻・日の漁。ごち網でマダライ(1～3kg)を10～30kg/隻・日の漁。刺網でイセエビ(200～300g)を2～15kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒケガエビを50～100kg/隻・日の漁。刺網でイセエビ(300～600g)を10～20kg/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、一本釣りでハガツオ(2～3kg)を50～60kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、底曳網でカイワリ(50～200g)を30kg/隻・日、ハモ(500～600g)を10kg/隻・日の漁。刺網でイセエビ(400～500g)を2～6kg/隻・日の漁。屋久島海域では、一本釣りでアオダイ(1kg前後)を20～30kg/隻・日、カンパチ(3～8kg)を5～6尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、延縄の3日操業でムツ(1～2kg)を60kg/隻、チカメントキ(1.5kg)を30kg/隻の漁。一本釣りの2日操業でタチウオ(2kg前後)を40kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の9月4日付「海況日報」による。黒潮流軸は、海上保安庁9月4日発行「海洋通報令和元年163号」による。